

地震が起こったとき、大切な人の命を守る！



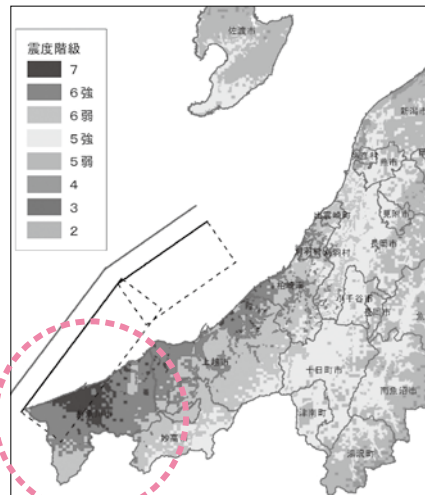
# 住まいの耐震化

令和6年能登半島地震では、市内で最大震度5強を観測し、600棟を超える住宅や宅地等の被害が発生しました。

今後の地震に備えるため、各ご家庭において住宅と宅地の安全性を確認することが大切です。

## ● 減災に効果的な取組は？

新潟県が令和3年度に発表した新潟県地震被害想定調査の結果では、建物倒壊による人的被害の割合が非常に高いことから、古い住宅の補強や建替え、宅地の補強により、これらの被害を大幅に軽減できると想定しています。



令和3年度 新潟県地震被害想定調査 震度分布図(上越糸魚川沖)

上越・糸魚川沖 (F41) 地震断層では最大で市内「震度6強以上」の揺れが想定されています

地震から命や財産を守るためには「住宅の耐震化」と「宅地の安全確保」が重要です

## 住宅の耐震化

まずは、お住まいの住宅の耐震性を知ることが必要です。

専門家による耐震診断を受けましょう。調査により、家の強さが不十分と言われた場合は、耐震改修を検討しましょう。

